

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2	学年	2	類型	ビジネスコース
教科書	MOUSA2			副教材	なし				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点		
				①	②	③	④	学習のねらい		
1 学期	4							<p>1 学期はこれまでの既習曲からさらに発展した題材を用いた楽曲や、高度な演奏力を必要とされる楽曲を練習します。</p> <p>また日本の伝統音楽の分野では箏の奏法や箏の歴史について学習し、簡単な楽曲を練習します。</p> <p>2 学期は器楽の授業として、ギターのコード演奏や弾き語り演奏などの奏法を学習します。</p> <p>3 学期は、これまで学習してきた楽器の奏法や知識を生かしてグループでのコンサートを実施し演奏の能力を高めます。</p> <p>また、年間を通して様々な楽曲の鑑賞や西洋音楽の歴史、日本音楽の歴史なども学びます。</p>		
		作曲家研究	ベートーヴェン	ベートーヴェンの生涯をたどろう	○				◎	
	5	鑑賞	バレー音楽	白鳥の湖		○			◎	
	民衆の音楽から1	フレンチポップス	アルゼンチンタンゴ	ボサノヴァ	◎	○				
	ミュージカル	レ・ミゼラブル	夢やぶれて				○		◎	
	6	ギターに挑戦	コード奏	基本コードの確認			◎		○	
		歌唱	中島みゆき	糸	○	◎				
		歌唱	実技テスト	○		◎				
7	リコーダー	バレー音楽「白鳥の湖」から	情景	○			◎			
		浜辺の歌			◎	○				
2 学期	8							<p>音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。</p>		
	9	沖縄の歌	ていんさぐぬ花	○	◎					
			涙そうそう	三線について			◎		○	
									評価の観点	
	世界の諸民族の音楽1	モンゴルの民族舞踊	バリ島のケチャ	○			◎		①音楽への関心・意欲・態度	
	世界の諸民族の音楽2	スペインのフラメンコ	マサイ族の踊り	○			◎		音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組んでいるか。	
	10	音楽史	西洋音楽の流れ			◎			○	②音楽表現の創意工夫
										音楽を形づくっている要素を感じ取り、それらの働きを考えながら、どのように歌うか、演奏するか、音楽を創るかについて考えられているか。
	11	日本の伝統音楽	京鹿子娘道成寺		○				◎	③音楽表現の技能
			確認テスト	歌唱実技テスト	○				◎	
12	ギターに挑戦	旋律奏	愛のロマンス		○		◎	④鑑賞の能力		
	ポピュラーソング	アメイジンググレイス				○	◎			
3 学期	1	創作1	構成を工夫して作品を知ろう	○	◎			音楽を形づくっている要素を感じ取りながら、楽曲の演奏について解釈したり、それらの価値を考えたりする。音楽に対する理解を深めその良さや美しさを感じ取れているか。		
		創作2	メロディーの雰囲気を変化させよう	◎		○				
	2	創作3	演奏スタイルを変化させよう			○	◎			
		創作4	音階を選んで旋律を創ろう	○			◎			
	3	鑑賞	セザール・フランク	ヴァイオリン・ソナタ			○	◎	備考	
			モーツァルト	レクイエム	◎	○				
	3	鑑賞	イタリアオペラ	オペラ史に残ったアリアを鑑賞しよう①	○			◎		
オペラ史に残ったアリアを鑑賞しよう②				○			◎			

※評価の観点 ①:関心・意欲・態度 ②:音楽表現の創意工夫 ③:音楽表現の技能 ④:鑑賞の能力

◆学習方法のポイント

【音楽Ⅱの特色】

- 音楽を通して、豊かな情操を養います。
- 個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばします。
- 発声や器楽演奏の基礎を学び、実践します。

【家庭学習】

- 演奏会に足を運んだり、CDやDVDなどでクラシックの鑑賞をして感性を高めましょう。
- 毎時間の課題は特にありませんが、筆記・実技試験に向けて勉強をしましょう。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- 教科書・ファイルを使用します。
- 実技(歌唱・器楽)の他、鑑賞、楽典、音楽史等を勉強します。

【定期考査】

- 定期考査は実施しません。授業の中で小テストや筆記試験を実施します。

◆評価の方法、基準

評価の方法	<p>評価の観点・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価の観点は、音楽への関心・意欲・態度、音楽表現の創意工夫、音楽表現の技能、鑑賞の能力の四項目です。 ・ 出席状況、授業態度、提出物、実技試験、筆記試験をもとに総合的に評価します。 	
評価の基準	1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発声の基本事項を学習します。全体での歌唱練習を実施し、学習した楽曲をその都度または、期末考査前に個別に実技テストを行い評価します。(観点別評価③) ・ 日本の伝統音楽、箏についてその奏法を学びその都度実技テストを行います。(観点別評価③) ・ ワークシート方式で学習した様々な内容を筆記試験の形式で確認します。(観点別評価①④)
	2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な発声法について学習し、曲想を考え表現を工夫します。期末考査前に個別に実技テストを行い評価します。(観点別評価③) ・ 西洋音楽の美しさを味わい、楽曲の文化的・歴史的背景や作曲者について学習します。授業の中でワークシートを使用し感想等の文章を3段階で評価します。(観点別評価④) ・ 音楽コーナーの担当係としてCDを忘れずに持参してもらいます。(観点別評価①) ・ 夏季休業中の課題を作成し提出します。(観点別評価④)
	3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ ギター弾き語りの奏法を学習し、グループで実技テストを実施します。学年末考査前に各グループで実技テストを行い評価します。(観点別評価③) ・ 3学期に学習した愛唱歌曲についての実技テストを行います。(観点別評価③)。 ・ ワークシート方式で学習した様々な内容を学年末に筆記試験の形式で確認します。(観点別評価②④)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均